

2016年12月19日 全6頁

Indicators Update

11月貿易統計

輸出数量が大幅に増加。米国向け乗用車輸出などが強い

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 齋藤 勉
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2016年11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲0.4%と、14ヶ月連続で前年を下回ったが、前年比伸び率のマイナス幅は前月から大幅に縮小し、事前コンセンサスも上回った。前月時点では前年比マイナスであった輸出数量が、大幅にプラスに転じたことが、11月の輸出金額上振れの主因である。輸入金額は同▲8.8%と23ヶ月連続で前年を下回った。この結果、貿易収支は1,525億円と3ヶ月連続の黒字となった。
- 季節調整値で見た輸出金額は前月比+4.3%と4ヶ月連続の増加、輸出数量は同+4.5%（季節調整値は大和総研による）と3ヶ月連続の増加となった。輸出数量を地域別に見ると、米国向けが同+1.7%と、3ヶ月連続の増加、EU向けが同+0.9%と3ヶ月連続の増加、アジア向けは同+4.0%と2ヶ月連続の増加となった。品目別では、米国向けの乗用車輸出台数が増加したほか、米国向け、アジア向けで自動車部品の輸出が大きく伸びた。一時的に弱含んでいたアジア向けIC、記録媒体の輸出数量が増加に復したことも全体をけん引した模様である。
- 先行きの輸出は、海外経済が緩やかな成長を続けるなか、緩やかな増加基調が続く公算が大きい。ただし、海外需要の回復が本格的かつ継続的に発現するまでには時間を要する可能性もある。加えて、保護貿易主義に向けた動きが世界的に広がりを見せた場合には、グローバルな貿易金額が大幅に縮小する可能性もあることから、相応のリスクが残存していることに注意が必要である。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2016年									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
輸出金額	▲6.8	▲10.1	▲11.3	▲7.4	▲14.0	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	
コンセンサス									▲2.3	
DIR予想									▲1.2	
輸入金額	▲14.9	▲23.3	▲13.7	▲18.7	▲24.6	▲17.2	▲16.2	▲16.5	▲8.8	
輸出数量	▲1.0	▲4.6	▲2.4	3.1	▲2.4	0.8	4.7	▲1.4	7.4	
価格	▲5.8	▲5.7	▲9.1	▲10.1	▲11.9	▲10.3	▲11.1	▲9.0	▲7.3	
輸入数量	5.2	▲7.5	3.6	0.4	▲4.0	3.8	▲1.5	▲2.4	3.6	
価格	▲19.0	▲17.0	▲16.7	▲19.1	▲21.5	▲20.2	▲14.9	▲14.4	▲12.0	
貿易収支	7,491	8,207	▲429	6,907	5,104	▲229	4,932	4,960	1,525	

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出数量が前年比プラス転化、貿易収支は3ヶ月連続の黒字

2016年11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲0.4%と、14ヶ月連続で前年を下回ったが、前年比伸び率のマイナス幅は前月（10月：同▲10.3%）から大幅に縮小し、事前コンセンサス（同▲2.3%）も上回った。前月時点では前年比マイナスであった輸出数量が、大幅にプラスに転じた（10月：同▲1.4%→11月：同+7.4%）ことが、11月の輸出金額上振れの主因である。また、輸入金額は同▲8.8%と23ヶ月連続で前年を下回った。この結果、貿易収支は1,525億円と3ヶ月連続の黒字となった。

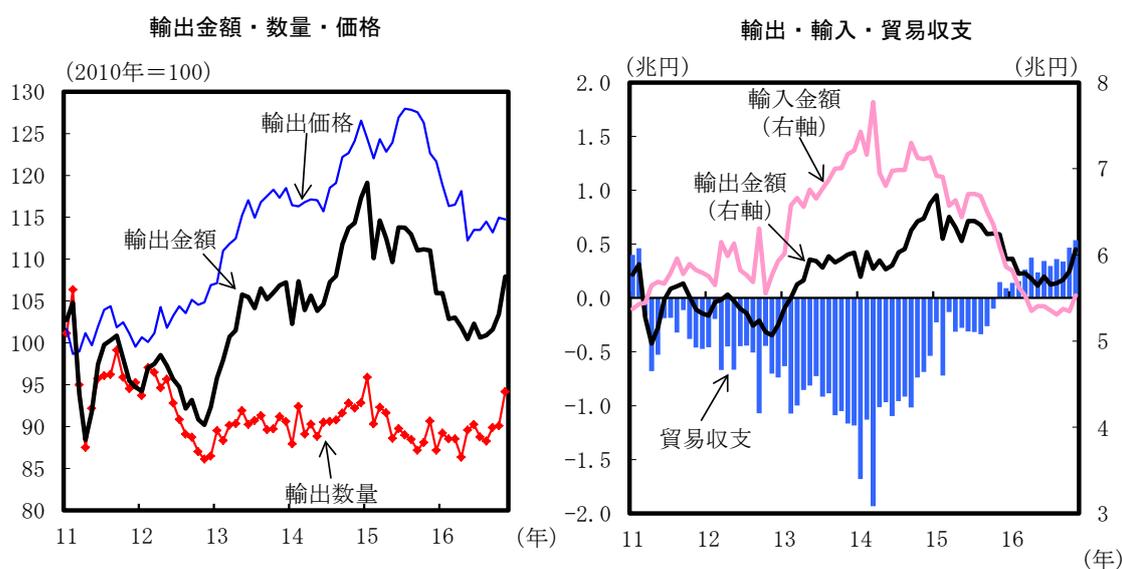
11月中旬以降為替は円安方向に推移しているが、貿易統計には3週間程度遅れて反映されることから、11月の税関長公示レートは104.94円/ドルと前年比13.5%の円高にとどまっている。この結果、輸出価格は前年比▲7.3%と前年割れが続いている。足下で為替が円安にシフトしている影響は、12月以降の貿易統計で反映されることとなる。

輸出数量は3ヶ月連続の増加。米国向け自動車輸出増加が続く

季節調整値で見た輸出金額は前月比+4.3%と4ヶ月連続の増加、輸出数量は同+4.5%（季節調整値は大和総研による）と3ヶ月連続の増加となった。輸出数量を地域別に見ると、米国向けが同+1.7%と、3ヶ月連続の増加、EU向けが同+0.9%と3ヶ月連続の増加、アジア向けは同+4.0%と2ヶ月連続の増加となった。

輸出数量を品目別に見ると、米国向けの乗用車輸出台数が増加したほか、米国向け、アジア向けで自動車部品の輸出が大きく伸びた。また、一時的に弱含んでいたアジア向けIC、記録媒体の輸出数量が増加に復したことも全体をけん引した模様である。他方で、鉄鋼や非鉄金属など原料品の輸出はさえない動きが続いている。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸入金額は前年割れが続くが、原油価格反発によりマイナス幅は縮小

輸入金額を価格要因と数量要因とに分けてみると、輸入価格は前年比▲12.0%、輸入数量は同+3.6%となった。原油の輸入単価は一時前年比▲40%を超えるマイナスを記録していたが、11月には同▲10.5%までマイナス幅が縮小しており、輸入金額全体の下押し寄与も相当程度縮小している。

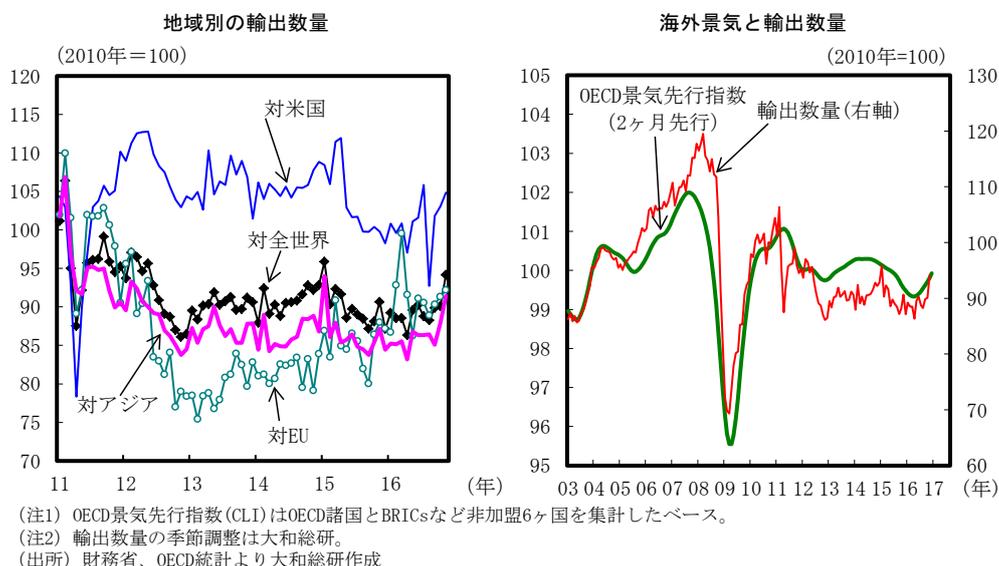
輸入金額（季節調整値）は、前月比+3.4%と2ヶ月ぶりの増加、輸入数量は前月比+1.6%（季節調整値は大和総研による）と2ヶ月連続の増加となり、貿易収支（季節調整値）は5,361億円の黒字となった。

先行きは緩やかな増加基調が続くと見込む

先行きの輸出は、海外経済が緩やかな成長を続けるなか、緩やかな増加基調が続く公算が大きい。雇用環境の改善等を背景として、対米国では消費財等の輸出が底堅く推移するとみられる。トランプ政権の成立によって、長期的に見ればリスクは増したと言えるが、短期的には景気の加速を促す可能性が高いことも、当面の輸出を見る上ではプラス材料である。ただし、企業収益の伸びが低位にとどまるため、資本財の輸出の伸びは限定的なものにとどまるとみている。欧州経済はECBによる量的緩和の効果等から持ち直しており、欧州向け輸出についても均してみれば回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、米国を中心とした先進国の経済・金融動向によって、上下双方のリスクが考えられるものの、景気は底を打ったとみられる。金属等の原材料価格が大きく変動していることなどから、資本財については慎重な動きが続く可能性が高いが、消費財等の需要に回復が見込まれる。

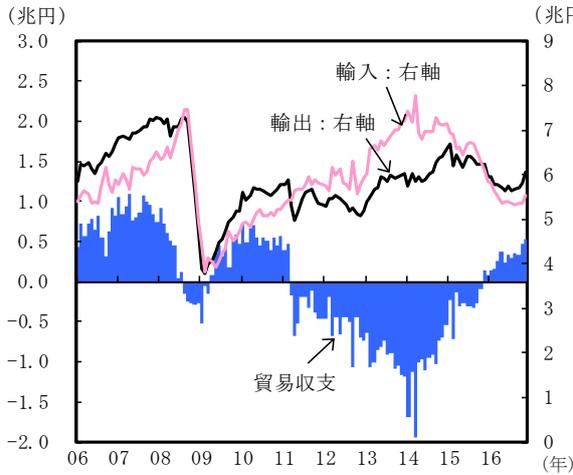
ただし、海外需要の回復が本格的かつ継続的に発現するまでには時間を要する可能性もある。加えて、トランプ政権の成立に代表される、保護貿易主義に向けた動きが世界的に広がりを見せた場合には、グローバルな貿易金額が大幅に縮小する可能性もあることから、相応のリスクが残存していることに注意が必要である。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



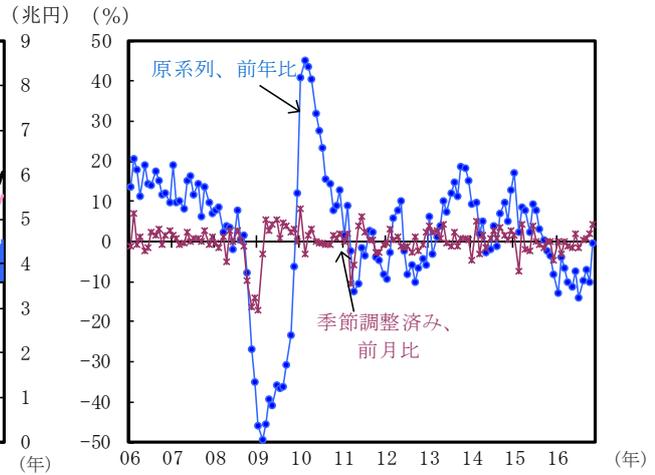
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

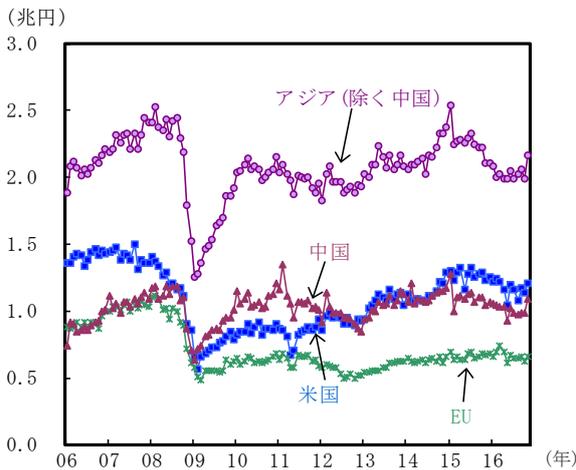


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

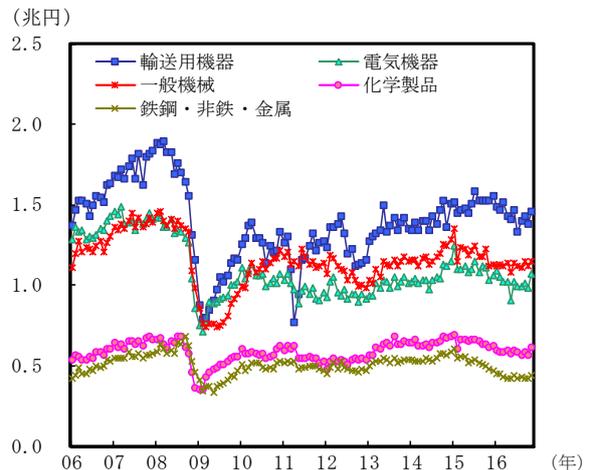


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

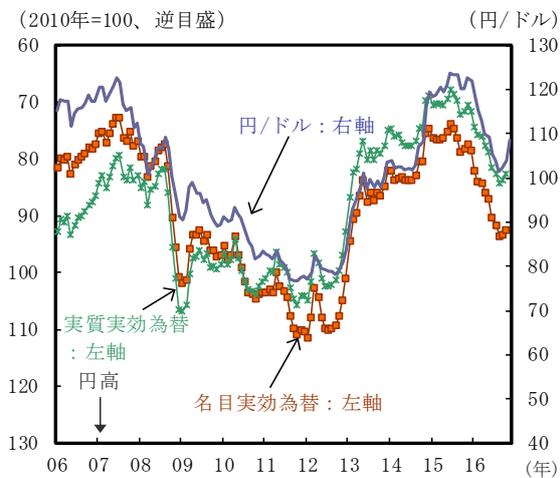


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

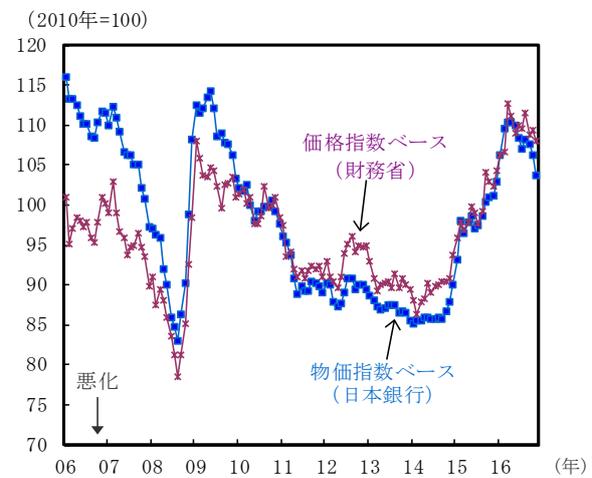


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.4	▲14.0	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	100.0	▲0.4
食料品	13.7	▲3.4	▲6.9	7.6	▲3.8	3.4	0.9	0.0
原料品	▲20.2	▲24.4	▲23.3	▲19.6	▲25.2	▲2.4	1.3	▲0.0
鉱物性燃料	▲25.1	▲40.6	▲26.9	▲34.0	▲33.2	▲19.6	1.1	▲0.3
化学製品	▲10.4	▲11.7	▲12.2	▲7.2	▲9.5	0.5	10.0	0.0
原料別製品	▲14.5	▲19.3	▲17.0	▲13.3	▲15.2	▲6.4	10.6	▲0.7
鉄鋼	▲24.2	▲21.7	▲20.4	▲20.9	▲19.3	▲12.1	3.8	▲0.5
非鉄金属	▲16.4	▲20.5	▲19.8	▲12.8	▲8.4	5.8	1.7	0.1
金属製品	3.3	▲18.7	▲8.1	▲6.4	▲14.0	▲1.9	1.5	▲0.0
一般機械	▲5.9	▲9.7	▲6.1	▲2.1	▲7.9	2.9	18.7	0.5
電気機器	▲7.4	▲13.4	▲8.5	▲9.9	▲10.9	3.2	17.8	0.5
半導体等電子部品	▲11.3	▲11.4	▲12.3	▲11.8	▲7.1	6.5	5.3	0.3
I C	▲13.2	▲11.7	▲13.2	▲13.7	▲5.9	10.0	3.7	0.3
映像記録・再生機器	▲22.2	▲35.4	4.1	▲8.5	▲18.6	▲3.2	0.5	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲22.4	▲25.0	▲16.3	▲26.1	▲20.8	▲2.0	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	▲6.5	▲9.3	▲1.0	5.8	0.1	9.6	2.6	0.2
輸送用機器	▲3.0	▲15.4	▲8.4	▲6.0	▲9.0	▲4.6	25.4	▲1.2
自動車	▲7.5	▲11.5	▲9.4	▲7.2	▲11.3	▲8.5	17.3	▲1.6
自動車の部分品	▲0.8	▲9.2	0.1	2.9	▲0.9	10.4	5.1	0.5
その他	▲5.8	▲10.8	▲4.8	▲1.0	▲7.2	5.4	14.2	0.7
科学光学機器	▲16.5	▲18.7	▲15.8	▲9.7	▲11.8	▲6.6	3.0	▲0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.5	▲11.8	▲14.5	▲8.7	▲11.2	▲1.8	100.0	▲1.8
食料品	30.9	3.1	▲9.5	▲0.5	▲9.0	6.4	0.6	0.0
原料品	▲20.8	▲31.6	▲41.9	▲44.6	▲35.5	▲24.4	0.4	▲0.1
鉱物性燃料	▲59.8	▲51.4	9.2	10.0	22.7	46.6	0.3	0.1
化学製品	▲11.4	▲14.6	▲12.9	▲20.8	▲13.4	▲12.5	5.1	▲0.7
原料別製品	▲19.7	▲11.6	▲22.0	▲12.7	▲23.3	▲12.1	5.8	▲0.8
鉄鋼	▲34.1	8.4	▲33.8	▲23.1	▲40.2	▲36.6	1.1	▲0.6
非鉄金属	▲16.7	▲14.8	▲12.4	▲8.5	▲8.5	1.0	0.4	0.0
金属製品	▲10.8	▲14.5	▲15.7	▲7.4	▲10.5	7.4	1.6	0.1
一般機械	▲5.8	▲10.6	▲16.3	▲5.9	▲11.6	▲5.2	19.7	▲1.1
電気機器	▲8.1	▲15.0	▲13.0	▲15.3	▲11.1	▲2.2	13.3	▲0.3
半導体等電子部品	▲22.0	▲22.7	▲13.3	▲22.4	▲16.4	▲12.5	1.6	▲0.2
I C	▲23.1	▲24.9	▲13.3	▲20.8	▲15.4	▲2.7	0.9	▲0.0
映像記録・再生機器	▲26.7	▲32.0	▲7.7	▲25.9	▲27.0	▲21.8	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲10.5	▲3.0	▲41.0	5.5	15.4	▲3.3	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	0.5	▲10.7	▲2.2	1.7	▲0.5	2.5	1.4	0.0
輸送用機器	▲5.3	▲10.8	▲11.7	▲6.4	▲6.1	6.1	46.4	2.6
自動車	▲6.7	▲9.9	▲11.4	▲7.3	▲2.7	10.0	37.4	3.3
自動車の部分品	8.5	▲4.7	▲5.8	10.6	▲9.2	9.4	6.0	0.5
その他	4.7	▲9.8	▲17.0	▲3.5	▲21.4	▲16.1	8.3	▲1.6
科学光学機器	8.3	▲8.8	▲18.7	▲11.2	▲15.0	▲12.9	1.9	▲0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.4	▲6.5	▲0.7	0.7	▲9.5	▲2.2	100.0	▲2.2
食料品	1.2	▲1.3	▲16.1	7.0	▲4.2	▲29.1	0.3	▲0.1
原料品	13.3	4.1	▲11.0	0.6	▲34.3	▲2.6	0.8	▲0.0
鉱物性燃料	7.1	▲70.2	▲8.5	24.1	▲51.9	379.3	0.4	0.3
化学製品	▲9.8	▲8.3	▲16.7	▲6.9	▲12.8	▲6.5	7.7	▲0.5
原料別製品	▲1.2	▲23.5	▲7.5	▲15.1	▲20.1	▲25.2	5.6	▲1.8
鉄鋼	0.1	▲54.4	14.3	▲42.7	▲44.8	▲67.0	0.6	▲1.1
非鉄金属	▲6.7	▲29.5	▲21.3	▲17.4	▲21.2	▲24.8	0.5	▲0.2
金属製品	▲2.0	▲7.6	▲0.7	▲9.3	▲10.0	▲18.1	1.3	▲0.3
一般機械	▲2.2	▲12.7	▲7.7	▲7.4	▲15.4	▲9.0	22.5	▲2.2
電気機器	▲4.2	▲13.0	▲8.4	▲4.4	▲16.1	▲2.2	18.5	▲0.4
半導体等電子部品	0.3	▲5.6	▲15.1	▲1.5	▲14.0	▲8.2	2.3	▲0.2
I C	▲1.9	▲13.2	▲12.5	▲5.1	▲17.0	▲14.0	1.2	▲0.2
映像記録・再生機器	▲17.2	▲19.8	▲9.6	▲7.5	▲34.5	▲21.6	0.9	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲21.5	▲31.8	▲1.1	▲34.7	▲20.5	12.1	0.5	0.0
電気回路等の機器	5.5	▲8.9	▲11.9	▲0.3	▲8.7	▲6.9	1.7	▲0.1
輸送用機器	2.7	▲5.2	15.0	2.8	2.2	2.6	28.0	0.7
自動車	8.1	▲8.3	12.7	3.4	▲6.2	▲13.8	16.4	▲2.6
自動車の部分品	5.9	1.9	8.9	11.7	▲0.4	10.2	5.7	0.5
その他	6.3	23.4	12.7	30.7	▲0.9	13.3	16.1	1.8
科学光学機器	▲9.2	▲10.7	▲17.3	▲10.0	▲11.1	▲6.3	3.3	▲0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.6	▲13.8	▲9.4	▲8.4	▲9.9	3.4	100.0	3.4
食料品	12.7	▲2.8	▲3.8	13.7	▲0.8	5.3	1.2	0.1
原料品	▲22.0	▲25.4	▲20.0	▲16.9	▲22.3	1.4	2.0	0.0
鉱物性燃料	▲32.8	▲43.9	▲22.9	▲35.7	▲42.7	▲41.7	1.1	▲0.8
化学製品	▲11.0	▲10.7	▲11.6	▲4.6	▲7.8	4.1	14.1	0.6
原料別製品	▲13.1	▲17.9	▲15.3	▲12.7	▲12.9	▲2.3	13.4	▲0.3
鉄鋼	▲24.8	▲20.6	▲17.6	▲19.9	▲17.0	▲6.5	5.1	▲0.4
非鉄金属	▲15.7	▲19.8	▲20.5	▲12.6	▲7.6	7.4	2.7	0.2
金属製品	14.8	▲20.5	▲3.9	▲5.5	▲14.5	0.7	1.7	0.0
一般機械	▲7.9	▲8.0	▲1.7	2.0	▲3.5	8.0	18.7	1.4
電気機器	▲8.1	▲12.9	▲7.8	▲9.3	▲10.2	5.2	22.3	1.1
半導体等電子部品	▲11.4	▲10.9	▲12.2	▲11.6	▲5.8	9.5	8.6	0.8
I C	▲13.1	▲10.8	▲13.2	▲13.7	▲4.8	12.3	6.2	0.7
映像記録・再生機器	▲18.8	▲41.3	29.3	6.0	▲2.7	16.2	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	▲28.2	▲24.3	▲25.0	▲18.9	▲20.3	▲3.7	0.5	▲0.0
電気回路等の機器	▲8.7	▲7.8	1.3	10.6	2.0	14.7	3.7	0.5
輸送用機器	▲13.7	▲7.9	▲6.2	▲14.3	▲9.9	5.8	10.0	0.6
自動車	▲6.4	▲15.6	▲12.1	▲9.2	▲16.0	▲4.9	4.7	▲0.3
自動車の部分品	▲4.2	▲5.8	3.9	3.9	5.6	13.9	4.3	0.5
その他	▲9.2	▲19.6	▲11.6	▲10.4	▲11.0	4.2	17.2	0.7
科学光学機器	▲21.5	▲21.7	▲15.1	▲9.6	▲11.7	▲6.1	3.9	▲0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.0	▲12.7	▲8.8	▲10.6	▲9.2	4.4	100.0	4.4
食料品	27.8	25.5	47.6	43.7	33.5	28.0	0.6	0.1
原料品	▲34.8	▲24.3	▲21.1	▲23.3	▲25.0	7.3	2.9	0.2
鉱物性燃料	21.2	▲30.0	48.6	28.8	▲7.2	4.8	0.7	0.0
化学製品	▲12.6	▲9.0	▲15.2	▲9.8	▲5.2	9.2	15.1	1.3
原料別製品	▲19.6	▲16.1	▲15.4	▲7.5	▲12.6	2.9	11.7	0.3
鉄鋼	▲27.2	▲11.8	▲15.7	▲11.7	▲20.1	▲7.9	3.3	▲0.3
非鉄金属	▲26.4	▲30.8	▲24.4	▲16.9	▲5.4	23.6	2.6	0.5
金属製品	▲16.5	▲18.8	▲5.4	0.0	▲13.0	5.6	1.8	0.1
一般機械	▲5.5	▲6.6	▲7.1	▲7.4	▲6.4	14.8	20.0	2.7
電気機器	▲4.7	▲13.0	▲2.0	▲13.7	▲14.6	1.1	23.4	0.3
半導体等電子部品	▲7.8	▲1.8	▲5.6	▲16.5	▲5.9	▲1.4	7.3	▲0.1
I C	▲8.6	1.5	▲4.9	▲21.2	▲6.5	▲4.7	5.3	▲0.3
映像記録・再生機器	▲12.8	▲45.1	182.8	10.5	▲4.8	48.8	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	5.6	▲32.2	▲35.5	▲33.0	▲31.9	▲14.5	0.8	▲0.1
電気回路等の機器	▲2.0	▲6.1	5.9	20.6	6.1	30.5	4.0	1.0
輸送用機器	▲3.0	▲7.6	▲0.5	▲1.7	0.7	13.5	11.8	1.5
自動車	8.1	▲5.6	▲4.6	▲15.9	▲11.4	4.7	5.2	0.2
自動車の部分品	▲11.6	▲7.2	4.4	14.1	13.4	23.1	6.3	1.2
その他	▲13.0	▲21.6	▲15.5	▲17.5	▲9.5	▲12.5	13.9	▲2.1
科学光学機器	▲26.2	▲27.6	▲20.3	▲14.7	▲11.2	▲12.7	6.0	▲0.9

(出所) 財務省統計より大和総研作成